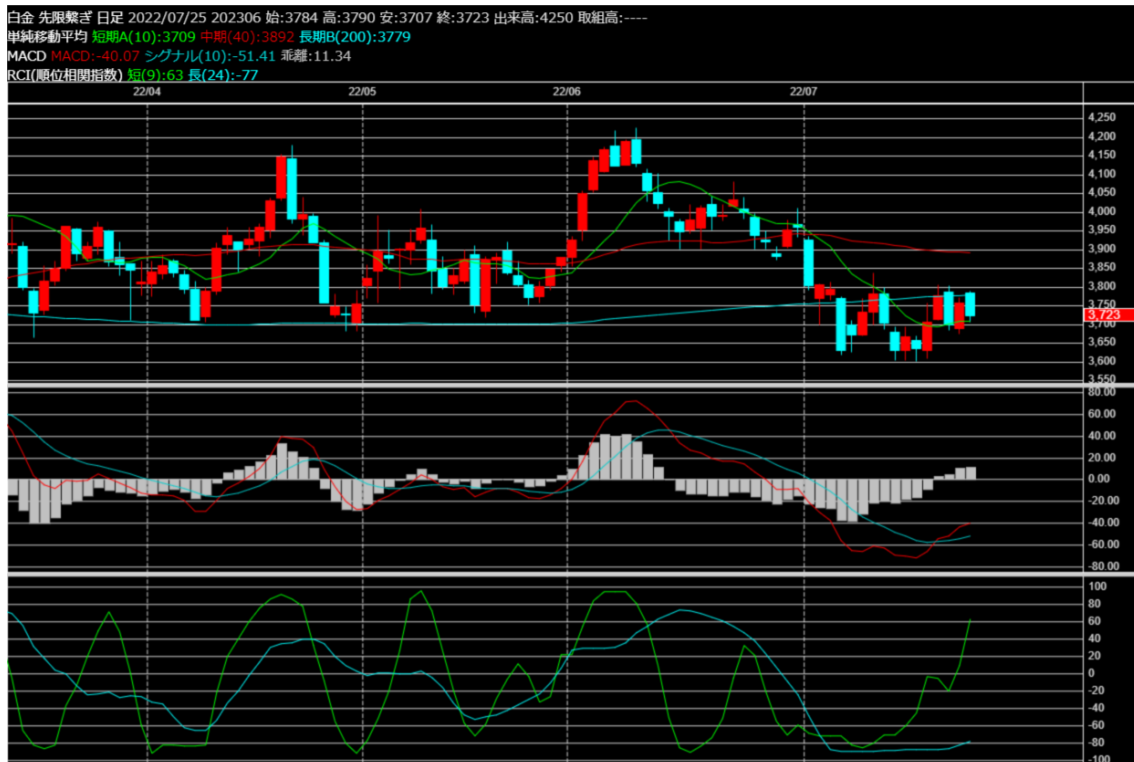


＜白金標準先物、グランビルの法則で強気を示し 3800 円超へ・・・＞



(出所：オアシス)

21 日 ECB 理事会で 21 年ぶりに 0.5%の大幅利上げを実施し、ユーロ圏は 11 年ぶりにマイナス金利を脱却している。またロシアとドイツの天然ガスパイプライン「ノルドストリーム 1」の再稼働も確認され、欧州市場におけるエネルギー・リスクとユーロ安の懸念が後退しており、3600 円まで売り込まれた白金標準先物は一時 3803 円まで戻りを見せている。

特に景気後退懸念や中国の厳格なロックダウンを受けた景気減速を受けて非鉄金属の銅やニッケル、アルミなどの価格も大幅低下を示しているが、LME の在庫は稀に見る低水準を示している。NY 白金もコメックスのプラチナ先物・オプションでは 5 週連続のネットショートで、そのポジションは 26%増の 29.5 トンを示しているが、ナイメックス取引所の指定倉庫のプラチナ在庫は 8.8 トンまで減少するなど、景気改善を示す動きが強まると品不足の値動きに移行する可能性が高いと予想される。

特に週末のパラジウム価格は中国の自動車購入期待が強まり、142 ドル高と大幅高を演じている様に、景気対策の効果や FOMC 以降の株価の動きが堅調であれば、白金標準先物は 3900 円へ向けた値動きを強めて来ると予想される。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が上昇し、**シグナル**も下げ止まるなど強気の予兆を示すクロスを見せている。また RCI でも**短期**が上昇を続けながら、**長期**も切り上げだしており、弱気の峠を越えた動きと思える。特に下げ続けていた **10 日移動平均線**が下げ止まり、日足が上回るなど強気のサインと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,450,000 円(2022 年 7 月 25 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円(2022 年 7 月 25 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>